

前年度評価シート 様式3

施設名	日野市市民の森ふれあいホール		
指定管理者名	シンコースポーツ・アズビル共同事業体		
指定期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和6年 3月 31日	評価年度	3年目評価
主管課	日野市産業スポーツ 部 文化スポーツ課 評価者名(豊田 航)		

評価項目	評価基準	自己評価	主管課評価
施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか。	A	A
人人体制	届け出された正規職員の業務責任者が常駐し、指揮命令が的確に行われていたか。	A	A
	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか。	A	A
	要員の就業時間記録があり確認できるか。	A	A
利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか。	A	A
外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か 外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか。	A	A
記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか。 点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか。	A	A
報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	A	A
地域等との連携	地域、関係機関、自治会等との連携は図れたか。	A	B
日常の安全確保	利用者の安全確保に関するマニュアルを整備し、社員に徹底しているか。	A	A
日常の衛生管理	利用者の衛生確保に関するマニュアルを整備し、社員に徹底しているか。	A	A
危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか。	A	B
	避難経路は適切に確保されているか。	A	A
	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか。	A	A
個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されているか。	A	A
	管理記録、個人情報利用状況について定期的に市に報告している。	A	A
	個人情報等を目的外利用をしていないか。	A	A
環境配慮	省エネルギー、省資源等について市が推進する環境への配慮がなされているか。	A	A
情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか。 協定書等に従い、情報を適切に管理しているか。	A	A
書類の提出	必要な書類、報告書等が期限までに提出されているか。	A	A
その他		-	-
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(25項目) うち S( ), A(22)、B(3)、C( )		A
指定管理者自己評価	日報を作成し、月報・年報にとりまとめ、随時報告を行った。 報告時には利用状況のほか、各種事業や機器の整備状況の報告を行い、情報の共有化を図った。		
市(主管課)の評価	該当する評価項目については良好的に実施されていた。令和2年度からのコロナウイルス対策を引き続き継続した上で、施設を利用しやすい運用を実施していた。		

評価項目	評価基準	自己評価	主管課評価
利用者対応	施設の予約や利用が公平かつ適切に実施されているか。	A	A
	言葉使い、態度、服装等の接遇はマニュアルが整備され適切であるか。	A	B
誰でも利用できる配慮	高齢者・障害者などに対する案内、サービスの工夫がなされたか。	A	A
	点字・音声、ファックスによる案内等、様々な障害をもつ人への合理的配慮がされているか。	A	A
利用案内	ホームページは見やすく、適宜更新されているか。	B	B
	利用方法を分かりやすく案内できているか。	A	A
利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。	A	C
	利用促進に向け、PR活動などに積極的に取り組んでいるか。	A	B
事業の実施	事業計画書に則り、指定業務を実施しているか。	A	B
	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか。	A	A
	各事業の参加者数は、計画どおりであるか。	B	B
	参加促進への取組みを積極的に実施しているか。	A	B
苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応し、その記録があるか。	A	B
利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか。	A	B
	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか。	A	A
維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか。	A	S
	日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。	A	A
	備品台帳や貸出簿により記録が適切に保管されているか。	A	A
	市と指定管理者の備品が明確に区別されているか。	A	A
その他	必要な小規模修繕を適切に行い、市に報告しているか。	A	A
【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価(20項目) うち S(1)、A(10)、B(8)、C(1)		A
指定管理者自己評価	新型コロナウイルスの影響でイベント開催はできなかったが、日常的な利用や地産物販の販売等で地域住民とのコミュニケーションを図った。		
市(主管課)の評価	令和2年度に引き続きイベントや大規模な大会が中止となる中で、利用者増加につながる「地産物販の販売」「焼き芋」販売など新しい試みを行っていた。		

評価項目		評価基準	自己評価	主管課評価
Ⅲ 収支等の 評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか。	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか。	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか。	A	A
	予算執行	収支計画書に則り、適正に予算を執行しているか。	B	B
		収支計画と実施計画の整合は取れていたか。	B	B
	経費節減	経費節減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか。	A	A
	【総括 Ⅲ】	収支等に関する評価(6項目) うち S(0)、A(4)、B(2)、C(0)		A
指定管理者自己評価	各支払証明書類を補完し、適正・適切な処理を行った。			
市(主管課)の評価	該当する評価項目については、良好に実施されている。各事業(指定管理事業・自主事業・南平体育館代替事業)の収支について、しっかりとまとめられている。			
評価項目		評価指標/目標は達成されたか。	自己評価	主管課評価
Ⅳ 目標 管理 の評価	目標①	設全体の稼働率を75%	B	B
	目標②	年間来館者300,000人	B	C
	目標③			
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価(2項目) うち S( ), A( ), B(1)、C(1)		C
	指定管理者自己評価	新型コロナウイルスの影響で、休館・時短営業があり思うように目標達成ができませんでした。		
	市(主管課)の評価	当初の目標を達成できず、令和2年度に比べ、来館者数は増加しているものの、目標の300,000人を200,327人下回る99,673人となった。		
<b>V</b>	<b>【総合評価】</b>	I～Ⅳの総括による総合評価 I(A)、II(A)、III(A)、IV(C)		<b>B</b>
Ⅵ 特記 事項	特に評価される点 市(主管課記載)	令和2年度に引き続き、コロナ禍の施設運用となったが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置など感染症拡大防止に努め、施設内でクラスターが発生しないよう、利用者への注意喚起・施設消毒などを徹底していた。令和3年度から当日参加型の教室(自主事業)・地産物販の販売・焼き芋販売など新しい試みを実施していた。		
	改善が望まれる点 市(主管課記載)	・令和3年度に実施した自主事業(当日参加型・定期教室)が市民ニーズに沿ったものなのかを検証し、参加者数が増えるような魅力的な自主事業の展開が望まれる。 ・また、イベントや自主事業のPR活動を積極的に行い、利用者増加に向けた体制を整えていくことが望まれる。		